
とある異能の幸福人生

ラヴィエンテ改

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

とある異能の幸福人生

【Nコード】

N5770Y

【作者名】

ラヴィエンテ改

【あらすじ】

今執筆中のものが手詰まりになってやらかしてしまいました。反省はしていますが後悔はありません。悲惨な人生を送った少年がとあるの世界に転生します。他人の幸福しか頭のない少年の物語が始まるー！主人公はかなりチートです。それを踏まえてお読みください。

プロローグ（前書き）

プロローグです。

プロローグ

「へ？」

そんな間拔けな声が口から漏れた。

先程死んだはずなのに、なぜか風情のある日本家屋にいた。

俺の名前は■ ■ ■ あれ？名前が思い出せない。

「ようやく気がついたようじゃの。」

声が聞こえた方を向くと、そこには好々爺が一人。

「あなた誰です？」

「わしはいわゆる神というやつじゃ」

「……………良い年して厨二病ですか。」

「違う！わしはツクヨミと呼ばれる神じゃ！」

「天照大神の弟さんですか？」

「珍しい。マイナーなわしのことを知っているとは」

なんか自虐オーラが……………

「それでじゃ。ここに呼んだのは他でもない。君を他の世界に送る

うと思つての」

「……………なぜ僕を？」

「簡単じゃよ。お主があまりにも不憫だったからじゃ」

不憫か。確かにそうかもしれない。散々虐待、いじめなんかを受けてたからな。でも

「そういうことならお断りさせていただきます」

「！！？何故じゃ！？」

「俺に使う力があるなら、他の人たちを幸せにしてあげてください」

「……………その心も気に入った！なに転生に使う力なぞ微々たるもんじやからの！氣にするでない！というわけで行き先は『とある魔術の禁書目録』の世界。能力はお前が今まで見たことのある創作物の全ての技じゃ！」

確かに生前、マンガが唯一の楽しみだった。だけでも……………

「色々突っ込ませてください！まず何故あなたがとあるのことを知って居るんですか！？次にチート過ぎますからそれはやめてください！—というか神様ってヲタクなんですか！？」

「大なり小なりあれど、神というのは皆ヲタクじゃ！姉上など腐女子じゃぞ！」

「今俺とんでもない事実知った！何！？天照大神って伊勢神宮で薄

くて高い本読みつつニヤニヤしてるの！？急速にイメージが崩れるんですけど！」

「スサノオの奴はコスプレイヤーじゃしの」

「この数千年の間に貴方に何が起きたスサノオ様！？つつか奥さんはどうした！？」

「家庭内別居中じゃ。千年程になるかの。なんでも彼女が発行しているスサノオを題材とした薄くて高い本に文句を言ったのが原因らしい」

「なんなの！？女性の神って腐女子ばつかなの！？」

「というか話がズレておるぞ！」

「すみません。能力は指定させてもらっても？」

「構わんよ」

「じゃあ一つ目はCODE：BREAKERの『音』の異能お願いします。レベルは五で。二つ目は『大嘘憑き』と『却本作り』オールフィクションブックメーカーを用に制限のある状態で。三つ目は『ネギま！？』からデメリット無しの『闇の魔法』と広域殲滅魔法を」

「それでは駄目じゃ。今までお主が受けてきた不幸と釣り合わんからの。これを相殺するには神具のオリジナルクラスでないとの……少し待っておれ」

神は電話を始めた。

「ああもしもしダーザか。今からエリンの四秘宝のレプリカを送ってくれんか？この前作り過ぎたと言っておったろっ……貸し一つ？馬鹿を言うな。これでお前がようやく一つ返したんじゃ。早めに転移してくれ。それじゃあの」

電話が終わった瞬間四つの球体が目の前に出現した。

「ブリュナク『神槍』リアファル『戴冠石』クラウソラス『閃光の剣』『魔釜』の四つをお主に与える。体に刻まれている四つの文字から呼び出せるからの」

何故三種の神器じゃないんだろっ？まあいいか。これらかなり好きだし。有名だし。

「では、送るぞ……幸せにな。少年」

慈愛に満ちた表情でそんなことを言ってもらえた。

「ありがとうございます。また会いましょう」

その言葉を最後に、意識は闇に溶けた。

プロローグ（後書き）

次回は設定です。

主人公設定（前書き）

色々とむちゃくちゃです。ではぐっぐ。

主人公設定

名前 月詠 つくよみ 夜風 よかせ

身長 165 cm

体重 40 kg

容姿 ボサボサの黒髪にやる気の無い目、そこそこ整った子供っぽい顔。服は大抵学ランだが、私服の時はパーカーとジーンズばかりである。

胸には四つのルーン文字が刻まれている。

経歴 転生者。親に虐待、クラスメイトにいじめられた末殺害され、哀れに思った神によりとあるの世界に転生。

転生後しばらくして両親が他界。学園都市のとある高校に進学し、親戚である月詠小萌に引き取られる（学生寮に住んでいるのだが）。小萌とは叔母と甥の関係だが、昔からの癖で小萌ねーちゃんと呼んでいる。

転生前の人生の影響で、人に優しくされることに慣れていないため、少し優しくされると何倍にもして恩を返そうとする。それが発展して、『自分は他人を幸せにするために生まれてきた』という某生徒会長のような考えを持つに至る。なので上条になにかと世話を焼く。

週に一度は小萌の部屋の掃除に行っている。

能力

・『音使い（サウンドマスター）』のLevel15。序列は三位。ただし原作通りLevel15は七人しか居ない。

音やそれに伴う衝撃波、振動などを操る能力である。そのためキャパシティダウンが通用せず、またキャパシティダウンと同じ周波数の音を発生させ、能力の発動を妨害することも可能である。また、この方法を使わなくても自分より下の序列ならまとめて相手をして粉砕できる程には強い。

上記のキャパシティダウン方式が効かない^{アクセラレータ}一方通行、垣根帝督、削板軍覇とは喧嘩友達で、よく殴り合っている。

御坂には敵視されており、視界に入るなり勝負を挑まれる。

・『大嘘憑き』『却本作り』

ポピュラーなスキルのため説明は割愛。ただ、使う度に激痛と出血を伴ったため、使用は控えている。

・^{マギア エレベア}『闇の魔法』

^{ゴクエンハオウ}『獄炎霸王』

『燃える天空』×2。体を黒い炎に変える。一度ついたら術者の意思でしか消せない。

^{キョクテンハウシン}『極天崩神』

『おわるせかい』×2。イノケンティウスを軽く凍らせる程の冷気を発する。

ライテンソウソウ
『雷天双壮』

『千の雷』×2。体を雷に作り変える。

詳細はwikiで。

・エリンの四秘宝

ケルト神話の宝具のレプリカ。緊急時以外は使わない。

ブリユーナク
『神槍』

先が五つに分かれた槍。ルーン文字『ソーン』から取り出せる。投げて手に戻る。

クラウソラス
『閃光の剣』

刀身が光る剣。ルーン文字『マザー』から取り出せる。圧倒的な熱を発し、相手を焼き切る。

リアファル
『戴冠石』

目の付いた紅色の立法体。ルーン文字『イング』から取り出せる。二人の人間を中に取り込んで闘わせ、勝者に王の器を与える。

『魔釜』

ルーン文字『イス』より展開される大量の魔方陣のこと。魔物を大量に召喚することができる。

・三級フラグ建築士

たまに女性にフラグを立てる。上条のように立てまくることはない。
自覚もある。

・魔法名『P r a e m i u m 4 8 7 』

「不幸な者に正当なる報いを」

自らの経験から来た魔法名である。

主人公設定（後書き）

戴冠石と魔釜はARAGOという漫画を参考にしました。
感想をいただけると嬉しいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5770y/>

とある異能の幸福人生

2011年11月18日05時49分発行